

徳島市教育委員会 学校における働き方改革プラン（第3期）概要版

令和7年3月改定〈令和7年4月実施〉

目的 教職員がワーク・ライフ・バランスを整え、やりがいがある魅力的な職場環境を整備し、子どもたちに対して効果的な教育活動を持続的に行うことができる学校づくりをめざします。

目標 時間外在校等時間が月80時間を超える教職員をゼロに
時間外在校等時間が月45時間以内の教職員が全体の75%以上に

働き方改革により期待できる成果

- 教職員が子どもたちと向き合う時間をしっかりと確保していきます。
- 子どもの指導や支援に専念できる環境をつくっていきます。
- 効果的な教育活動を行い、学校教育の質の維持・向上をめざします。

働き方改革の普遍的取組

- 1 校務デジタル化等の学校DXの推進
- 2 保護者・地域への理解促進

推進のための4つの取組の柱

1 タイムマネジメントの徹底

- 目標とする最終退校時刻の設定
- 夏季休業期間中の「学校閉庁日」の設定
- 出退勤管理システムの活用
- 週1回以上のノー残業デーの実施
- 休暇を取りやすい環境整備

2 業務改善の更なる推進

- 校務の効率化・省力化の推進
- クラウドツールの活用促進
- 教育用ICT環境の整備
- 学校対応（電話・来校）時間帯の設定

3 外部人材等の積極的活用

- 専門スタッフの配置促進と教育相談体制の強化
- コミュニティ・スクールの活用促進

4 部活動の適正化

- 「徳島市立学校における部活動の方針」の策定と推進
- 各連盟や各競技団体等との連携・協力
- 休日の部活動の段階的な地域移行

期間 令和7年度～9年度までの3年間とし、年度ごとにその達成状況を検証し、内容の改善を図ります。

対象 徳島市立小・中学校の教職員を対象とします。

*市立幼稚園・市立高等学校も本プランを適用し、それぞれの実態に応じて取組を推進します。

※本プランについては「徳島市ホームページ」に掲載しております。

